



Title	住みよい環境づくり
Author(s)	山本, 傳三
Citation	makoto. 1975, 12, p. 4-4
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86214
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

住みよい環境づくり

株式会社 南海フェリー

総務部長 山本 傳 三

防疫協会の田中さんから投稿の依頼を受けたものの、私ごときが、貴重な紙面を汚すことは引受けるほうがどうかしているので、再三お断りしたが、たつてということだったので、拙筆ながらお引受けすることにした。

最近、「住みよい環境づくり」という言葉を随分耳にする。

この言葉は、どんなことを意味するのだろうか。

私は、人間が生活するうえで、人間の体が、本来の機能をそこねないで、安心して健康な姿で働ける環境だけでなく、そのうえに、なおかつ気持よく働き、気持よく生活できる環境をいうのだと思う。

人間が生きてる限り、このことは非常に大切なことであるが、わが国では、戦後、特にここ数年前から一昨年夏ぐらいまで続いた高度成長の陰にかくれて、当然考えるべきのことを知ってか知らずか、とにかく忘れら

れてきた？いや、おろそかにされていた点は、GNPを云々（うんぬん）しながら、この面では、未開発国とか後進国とかいうそしりを受けても、当然なことだと思う。

住みよい環境づくりについては、お互い一人一人が、相手の立場にたつて、それぞれの立場で実行できる範囲で取組んでいく姿勢が望ましいことは、いうまでもない。

例えば、役所は役所なりに、企業は企業なりに、そこに働く人は働く人なりに、ちよつと注意すれば、さしてむづかしい問題ではないと思う。

しかし、現実では、なかなかそう簡単に片付く問題ではない。

例えば、公害病患者の何人かが犠牲になつたうえで、これが表面化してきて、その対策云々となる。また、公害病患者が現在に発生していても今後何年か後に発生するかも知れないし、病気になるいまでも、振動、

粉じん、騒音、光化学スモッグ、電波障害などに、悩んでいる地方も多い。

現在の工場など、多かれ少なかれ、こういった公害発生源になる要素は多分にある。

しかし、現実には病気の発生が公にされない限り、なかなか改めようとしなから、その環境はなかなか変わらない。

住みよい環境については、こういった工場の問題ばかりではない。例えば、一般がよく利用する交通機関や遊園地などにおけるゴミや空かんなどの散乱の問題もある。これらも、みんなお互いに、きれいに、気持よくとは知つていながら、つい旅のはじはかきすてということでは

れてしまふのであろうか。

これはその利用者だけでなく、交通機関や遊園地に働く人々自体が、その利用客に、常に環境の整備に心がけて、そこを利用する人々を啓蒙していくことはもちろん必要なことで、例えば、

きれいにしている場所なら、大抵の場合、煙草の吸いながらや空かんを、無造作に投げすてるところとはしくいものなのである。

また、そこを利用する人々も、お互いに気持のよい行楽や旅行のために、他人の迷惑や、不快になるようなことはやめるように努めるべきである。

元来、こういった環境づくりなるものは、時と場合によりけりで、法律とか何かの取り決めも必要であろうが、要は、このことが、日常私達の最も身近かで大切な問題であることだけに、

お互いが自律的に、いい環境を確保していくことの努力が必要で、とかく、いろいろ問題の多い現今の世相の中で、せめてこのぐらいのことは、解決したいものである。

さて、私の社の関係では、大防疫協会の方々に、随分お世話になつてゐる。

多数の協会の方々が、毎日、駅をはじめ、電車や自動車、フェリーボートなどの清掃から消毒にいたるまで、キメの細い地道な努力を続けられている。

そのお陰で、利用される多数のお客様が、どれだけ気持よく

利用されていることか。

めまぐるしい交通機関の陰にこういった方々が黙々と環境づくりの一環にとり組んでおられる。その努力のお陰で、最近では随分と環境がよくなつて有難いと思つてゐる。

以前は、新聞紙やチラシが電車の床下に落ちていたのを見かけたことがあつた。車内巡回の車掌が当時、それを靴でふんまえて、いわゆる「仕事をまたいだ車掌」も見受けられたが、最近、これを拾つてゐる車掌君が多くなつた。

一方、お客様自体も読みすての週刊誌や新聞紙は駅の屑入れに、というお客様も多くなつた。

こんなことをあれこれ考えてみると、よい環境づくりは、お互いが、お互いの立場で、お互いのことを考えて、それを実行に移すことによつてのみ問題は解決される、と思うのである。

